

「映画のまち調布」の推進に向けた モデル地区に関する まちづくり懇談会

調布市は、令和6年3月に策定した『「映画のまち調布」の推進に向けた土地利用方針』に基づき、モデル地区を選定しました。モデル地区内において映画・映像関連事業所の建替えや新たな立地を可能にするために、建築物の建て方等のルールの見直しと、細やかなルール作りが必要です。

選定したモデル地区でのルール検討に際し、周辺にお住いの皆さまや、関係権利者の方々との意見交換を行うため、まちづくり懇談会を開催いたします。

■まちづくり懇談会について

【日時】：令和6年 **7月26日（金）18:30~20:00**（18:00~受付開始）
27日（土）10:00~11:30（09:30~受付開始）

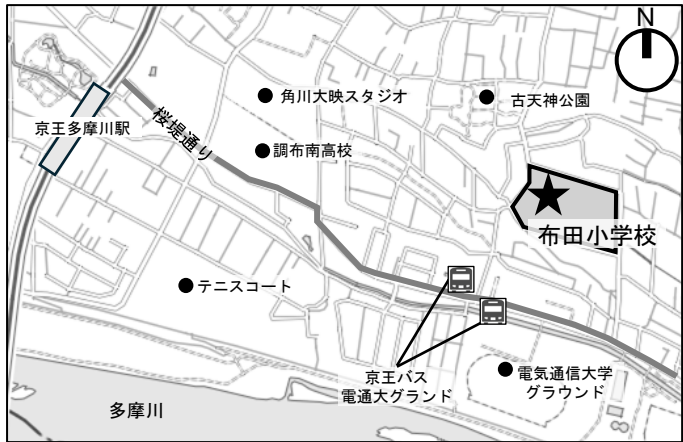
【場所】：調布市立布田小学校 体育館
（調布市染地1-1-85）
京王相模原線「京王多摩川」駅から徒歩13分
京王バス「電通大グランド前」から徒歩4分

【定員】 **50名**

【注意事項等】

- 懇談会での説明内容は両日とも同様です。
- 申し込み制ではありません。当日、受付開始後に直接会場へお越しください。
- 車でのご来場はご遠慮ください。

【会場案内図】



■主な内容

1. 調布市からの説明

- まちづくり懇談会開催の経緯
- 「映画のまち調布」の推進に向けた土地利用方針について
- モデル地区選定の手順および選定結果等について
- 今後のスケジュール

2. 事業者からの説明

- 事業概要の説明 等

3. 意見交換

※後日、当日の様子や資料を調布市のホームページに掲載する予定です。

<https://www.city.chofu.lg.jp/machizukuri/toshikeikaku/kondankai/index.html>

■問合せ先

調布市 都市整備部 まちづくり推進課 都市計画・地区まちづくり係
電話 : 042-481-7453
FAX : 042-481-6800
Eメール : keikaku@city.chofu.lg.jp

■まちづくり懇談会開催の経緯と背景

●調布市では、映画文化の発信地としてまちが形成

調布市では、昭和8（1933）年に日本映画株式会社多摩川撮影所（現在の角川大映スタジオ）が設立されて以来、映画・映像関連事業所の立地が進み、かつては「東洋のハリウッド」と称されるなど、多くの人々が訪れる、大衆文化を支える映画文化の発信地としてまちが形成されてきた歴史があります。

現在においても、市内には約40社の映画・映像関連事業所のほか、市と映画の関わりを示す映画俳優の碑など「映画のまち」としての歴史を感じさせる資源が多く存在します。

●「映画のまち調布」の取組について

市では、映画・映像関連事業所や市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の取組を積極的に推進し、特色ある取組の展開を図っています。

今後も引き続き、「映画のまち」としての市の魅力を高めていくためには、「映画のまち」を支える映画・映像関連事業所について、市内での操業の継続や新たな立地を進めていく必要がありますが、現状の建築物の建て方等のルールにより、事業所の建替えや新たな立地を進めるうえでの課題があることが判明しています。また、市では市内の様々な地域において「映画のまち調布」の取組など特色ある地域資源を活かした様々なまちづくりを展開することとしています。

こうした取組を推進するために、市では令和6年3月に『「映画のまち調布」の推進に向けた土地利用方針』を策定し、当方針に基づき、令和6年6月にモデル地区を選定しました。

●モデル地区における取組について

選定したモデル地区について検討を進めるため、まちづくり懇談会を開催し、周辺にお住まいの皆さんや関係権利者の方々と、意見交換を行いたいと考えています。

意見交換では、新たにスタジオを設置する場合には、どのようなことに配慮が必要か、また、魅力あるよりよい地域を形成していくため、事業所に期待する取組について、御意見を伺えればと思います。

■モデル地区位置図

